

事業概要	ワインコルク、シャパンコルクを回収し、製品化(アップサイクル事業) SDGsやサステナブルに関する講義やセミナー、コンサルティング(コンサルティング事業)
部署	TOKYO CORK PROJECT
所在地	〒136-0082 東京都江東区新木場1-15-10 デザインアートセンター2F
連絡先	(電話番号)03-6447-1596 (E-mail)info@gooddealcompany.tokyo
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	<p>都市は多くの消費とともに大量の廃棄物を生み出し、埋立地の限界などの課題もある。しかし、これまで廃棄されていた物は本当に不要となる物なのだろうか。我々は「大消費都市を再生資源の宝庫」と捉え直し、都市型資源循環(アーバンサーキュラー)を作り出すことを目的としています。都市は数々のロジスティクスを有しており、例えばそれらの帰り便などを活かすことで効率的な回収を可能とし、エネルギーレスな資源収集を可能にします。</p> <p>また、当プロジェクトには障害者の就労支援施設にも協力いただき雇用創出に貢献し、その他インポーターや商業施設、小売業、メーカーなど多岐にわたる業種の企業との協業を行っています。我々がSDGsの17項目で最も重要な項目は「17パートナーシップで目標を達成する」ということです。</p> <p>これまでクローズイノベーションが主流だった日本ですが、迅速かつミスリードの無い課題解決をするためには様々な企業のリソースを集結し取り組む、オープンイノベーションが重要と考えています。</p> <p>市民と企業が手を取り合い楽しく課題解決を考えるコミュニティを作っていきたいです。</p>

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	脱炭素／サーキュラーエコノミー／健康・福祉
	<p>TOKYO CORK PROJECTではワインやスパークリングのコルク栓を飲食店を中心に回収し、再資源化する取り組みです。コルクは天然素材ながら1cm³あたり4000万個の空気を多く含む細胞で構成され、断熱性・遮音性・軽量性・弾力性に優れ、かつ難燃性・耐水性・抗菌性・絶縁性など多くの機能特性を持っています。しかし、原料となるコルク栓の木は地中海沿岸部を生育地域としているため、日本は100%輸入しなければなりません。</p> <p>我々はこの取り組みによって以下の環境メリットと経済メリットを創り出せると考えています。</p> <ul style="list-style-type: none">• 環境メリット 輸入に係るエネルギーを削減／石油由来素材との代替によるカーボンニュートラル• 経済メリット 世界的受給や為替、原油などの外的要因を除いた資源供給／障害者雇用創出	
上記ソリューションを提供できる地域について	URL	https://tokyocorkproject.jp/
	全国	

自者の特徴	<p>レストランで働きながらフードロスや多くの廃棄物を前に環境トレードオフに葛藤していた時、廃棄される大量のコルク栓を目の当たりにし「もったいない、何か活かせないか」という思いから始まったプロジェクトです。2010年個人からはじめ、今では東京を中心に約400箇所、関西で150箇所、全国で約600の事業所からコルクを回収しています。</p> <p>これまで再生された素材は、</p> <ul style="list-style-type: none">・ブランドとコラボレーションした商品開発・コースターなどノベルティ製作・商業施設や店舗の内装や什器 <p>などとして活用してきました。</p> <p>国内のコルクメーカーでは、内装や什器としてコルクを加工及び活用した実績はなく、弊社とお客様で試行錯誤しながら取り組んできました。また、我々はコルクの活用方法の提案からデザイン、商品開発、納品まで一貫して行えることも強みであると考えています。</p> <p>受賞経歴等</p> <p>2017年 東京都環境局「持続可能な資源利用」モデル事業」採択 2018年 認定NPO法人 芸術と遊び創造協会 グッドトイ受賞 2020年 東京都産業労働局「Buy TOKYO推進活動支援事業」採択 2021年 第8回ソーシャルプロダクツ・アワード2021 自由テーマ大賞受賞</p>
SDGs経営に向けた自者の課題や悩み	<p>輸入材よりもリサイクル材の方がコスト高であるため、ノベルティなどの単価のシビアな案件の場合、流れることが多い。そのコスト差こそ、これまで無視されていた環境コストでもあるのではと考えていますが難しい。</p>